

# society&business Tokyo25 journal 25 journal

執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com

## ヨルイチの動画に感動の輪 ヨルイチ動画製作委員会

### まちの活気と生き生きとした人々の表情、店の舞台裏まで



ヨルイチの魅力をしっかり伝え、記録として次代へ

8月26日、あきる野市五日市を舞台に賑わいを演出した第19回ヨルイチ。多くの市民や観光客が明かりが連なる街に繰り出した。商店自慢の逸品を求めて買物を楽しみ、音楽ステージや踊りを観覧した。この模様が15分ほどの動画にまとめられ、動画サイトに先ごろ投稿された。ヨルイチの活気と生き生きとした人々の表情、店の舞台裏までよく分かると感動の輪が広がっている。

動画は同市伊奈の森下晴男さんが仲間8人に呼びかけヨルイチ動画製作委員会を立ち上げ、完成させた。武蔵五日市駅に降りたつた女性2人がまちを散策し、ヨルイチを存分に楽しむというもの。行き交う人たちが買物や人力車を楽しむ姿、特設ステージでは地元の音楽家やダンサーたちの熱唱、熱演が映し出されている。

中でもすし店、陶器店、肉店など8店舗を内側から撮影。店の人、利用者の様子がよく分かる映像となっており。森下さんは「私たちが暮らす五日市の歴史や文化、素晴らしい景色を多くの人たちに知ってもらい、記録として残したかった。地域を愛し、活性化に取り組む姿が次世代にしっかりとつながってほしい」という。

動画はYouTubeのshonanboy18で見れる。shonanboy18にはご当地ソングの楽曲制作を行う森下さんの音楽がBGMとなった作品など130本の動画が並び、登録者は350人を大きく超す。

10月1日には「五日市町歳時記せせらぎの詩」を投稿。終わったばかりの阿伎留神社例大祭を収めて、五日市の春から秋までの魅力を伝えている。

### 「川崎村・羽村市・西多摩の今を考える」 秋山義徳羽村市議

羽村市川崎の宗禅寺で9月16日、土曜講座が開かれ、地元選出の秋山義徳羽村市議が「川崎村・羽村市・西多摩の今を考える」と題し、課題が山積する羽村駅西口土地区画整理事業や2010年代に急激に悪化した市財政の実情などを報告した。20人余りが熱心に耳を傾けた。秋山市議の講演は主要の通り。

同区画整理事業の検証を公約にした橋本弘山市長は、土地区画整理事業を基本としながらも、実務者としての知識と経験を有するアドバイザーの助言などを得ながら、整備手順や事業費削減の方策を模索。土地区画整理以外の整備手法をエリアの特性を考慮し、地区

の一部に取り入れることができるかどうか検討しているとした。同土地区画整理事業は約42・39が対象となり、羽村大橋東詰交差点渋滞解消、川崎街道朝・夕渋滞解消、羽村東小学校通学路安全確保、狭隘道路解消、老朽化した上下水道管整備などを目指した。市財政については、経常収支比率が2016年度に103・5%になるなど硬直化を示す

100%台が続いたが、コロナ補助金等の効果で21年度は91・4%、22年度は95・6%と落ち着いた。予算配分を枠配分方式にして抑制しており、市民税回も復傾向にある。ただ、23年度予算編成は、財政面では前年度決算において経常収支比率が改善し、基金残高は一時的に増加したものの、依然として財政の硬直化は進んだ状態にあり、不透明な国内外の情勢を受け、社会経済活動の低迷が続く中、引き続き、厳

しい財政状況が続くものと想定している。日本経済新聞社と日経BP「日経xwoman(クロスウーマン)」が、全国180の自治体(165自治体が回答)を対象に「自治体の子育て支援制度に関する調査」を行い、22年版「共働き子育てしやすい街ランキング」をまとめた。羽村市は79点を獲得し、全国4位、東京都の中では2位と高評価を得た。

市では、第6次羽村市長期総合計画に基づき、子育て家庭への支援や支え合いによる子育ての推進などに取り組みとともに、「愛情ギョツとずーっとはむら」をブランドメッセージに掲げ、「東京で子育てしやすいまち」の魅力を発信するシティプロモーションに取り組んでいる。

その取組みは、「転入促進」と「転出抑制」による「定住人口の増加」を目指し、「ブランド化の推進」「戦略的・継続的な情報発信」「シビックプライドの醸成」をテーマに、「はむら家族プロジェクト」をはじめ、「羽村市魅力発信市民記者事業」などを行っている。

16年(羽村市シティブロモーション基本方針策定時)と21年を比較すると、転入・転出ともに、20代、30代の動きの大きさは変わらないが、特に0から4歳、30歳代の年代は転入超過に転じ、転出者数が大きく減っている。

ただし、国全体の人口減少・少子高齢化の進行は羽村市にとっても、深刻な課題。人口減少・少子高齢化の進行は社会経済に大きな影響を与えることから、人口構造の変化に対応し、地域の特徴を活かした持続可能な社会をつくるのが重要だ。このほか、西多摩広域連携の必要性に触れ、西多摩一帯としての観光政策、行政施設の相互利用、行政区縄張り

意識の打破、西多摩格源有効利用、西多摩格差の是正を指摘した。秋山市議は地元の小中学校を卒業し、明大付属明大中野八王子高等学校から明治大学経済学部経済学科で学んだ。トヨタ東京カローラ勤務を経て井上信治衆院議員秘書になった。2019年4月の羽村市議選で初当選、23年4月に2期目の当選を果たした。現在、議会運営委員会委員長。 ※「如是我聞」では土曜講座を連載でレポートします。

### 如是我聞 宗禅寺土曜講座聴聞記⑫



羽村駅西口土地区画整理事業や市財政などについて語る秋山市議

寺は文化の発信地 創ろう地域の文化を人から歴史から

## そうぜんじ便り—神無月

第83回土曜講座 (お茶代300円) 10月21日 13時~15時30分

- イス坐禅とお話し 住職 高井 正俊
- 講談「新平家物語」 講談師 菊地玉雲さん
- 「市議会議員になって私の取り組むこと」 羽村市議会議員 野崎和也さん

学生無料。予約不要。檀信徒以外の方の参加大歓迎。

リアルてらこや 10月14日 9時~12時  
すべての子どもたちが、安心して勉強のできる居場所です

臨濟宗建長寺派 宗禅寺 羽村市川崎2丁目8-20 ☎042-554-1276